

●●●● PLATANUS

PLATANUS は、「音楽そのものに忠実であること」をブランドポリシーに製造を行っている
フォノ・カートリッジ・デザイナー 助廣哲也氏によるオリジナルブランドです



3.0S

希望小売価格:
385,000 円 (税込)

PLATANUS の特長である高剛性磁気回路をさらに進化させ、N45 ネオジムマグネットの新採用により力感と豊かな空間表現を両立しました。
結果として上質で活力にあふれ、均整の取れた美しい再生音を実現しました。

ブランド名	PLATANUS
製品名	3.0S
製品種別	MC型フォノカートリッジ
発電形式	鉄芯入りムービング・コイル型
出力電圧	0.4mV (3.54cm/sec., rms, 45°)
再生周波数	10 ~ 50,000Hz
インピーダンス	2.5Ω
チャンネルセパレーション	30dB以上 (1kHz)
チャンネルバランス	0.5dB以内 (1kHz)
カンチレバー	A2017アルミニウム合金, テーパー形状中空パイプ

針先	ダイヤモンド/ラインコンタクト (曲率半径 3μm × 30μm)
マグネット	ネオジム (N45)
筐体	A6063アルミニウム合金 (ベース部), A7075アルミニウム合金 (カバー部)
針圧	1.9 ~ 2.1g (標準 2.0g)
コンプライアンス	7μm/mN (100Hz)
自重	11.5g
付属品	M2.6ステンレス六角穴付ボルト (8mm,10mm,12mm)各2本, 六角レンチ

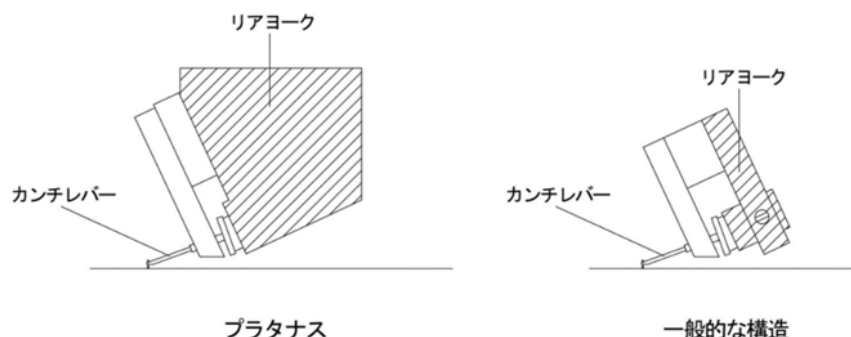
3.0S の特長

高剛性磁気回路

プラタナスの製品は設計者である助廣哲也氏が自ら組立を行いますから、量産のために構造を妥協する必要がありません。ひとつの例が、すべてのモデルで採用する高剛性磁気回路です。

ピックアップカートリッジ

の磁気回路を構成するヨークには、純鉄など金属としては柔らかい素材を使用します。一方、リア側のヨークは音声波形の伝達を担うカンチレバーが取り付けられ、その振動をすべて受け止める支点でもあります。しかし純鉄のような柔らかく粘りが強い金属は加工が難しく、板材の打ち抜きによるヨークと旋盤加工のポールピースを組み合わせる構成するのが一般的です。プラタナスではリアヨークを重要な構造の一部と考え、あえて純鉄の塊からマシニングセンタによる精密切削加工で製作することにより、最適な質量をリアヨークに持たせて剛性を高め、共振を抑えてレコードの音溝に込められたエネルギーを損なわないよう工夫しました。出力端子プレートまで一体に取り付けられ、調整代が少なく組立は格段に難しくなりますが、この構造によって芯のある鮮やかな音色が得られました。



新採用 N45 ネオジムマグネット

3.0S では磁気回路に微細な変更を施すとともに面積を増した N45 ネオジムマグネットを新たに採用しました。磁力による運動抵抗をダンパーの一部と捉え、コイルコアとヨークの位置関係を改めたことによるトレース能力の改善により力感と豊かな空間再現を両立させています。

- 異種アルミ合金の組み合わせによる無共振筐体思想を貫いた 2 ピース構造
- 高効率発電機構による出力電圧アップにより高 S/N 比を実現
- 新筐体構造の採用により自重を軽量化

助廣哲也（すけひろてつや）氏

1979 年 東京生まれ。

幼少の頃より機械の仕組みや音にまつわることに興味を持ち、楽器作りやフィールドレコーディングに夢中な少年時代を過ごす。中学在学時にバンド活動を始めると、関心の幅は音だけでなく音楽にまで広がる。高専で電気工学を学んだのち、2002 年よりハイエンドオーディオ機器の受託製造会社に勤務。トーンアームやフォノカートリッジの設計製造に携わる。2012 年に独立し、PLATANUS を設立。